

コード	103010203
記入日	H24.5.31

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司 貴英
担当者	田邊 恵司

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託事業
----------	--------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	8
施策コード	103	施策名称	しまを支える交通基盤づくり	項コード	2
基本事業コード	10301	基本事業名称	地域特性や機能に応じた道路整備の促進	目コード	3
事務事業コード	1030102	事務事業名称	国庫補助事業費（道路）	細目コード	359
関連計画		法令・条例規則等	道路法、道路構造令		

計画（PLAN）

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町が管理する橋梁の利用者（住民）	(対象2)	(対象指標1)	22,720人口H23.4.1現在			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・計画策定橋梁数 304橋 ・全体事業費 24,514千円 ・平成21年度 → 25橋、事業費 2,733千円 ・平成23年度 → 304橋、事業費 21,781千円	(平成23年度) ・計画策定橋梁数 279橋 ・事業費 21,780千円	計画策定橋梁数	304橋	100%	計画策定橋梁数÷	平成23年度
		計画策定橋梁数	279橋	100%	計画策定予定橋梁数	平成23年度
		① (達成率分析)	計画どおり実施できた。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・本事業は、町が管理する305橋について、従来の対処療法的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び長寿命化修繕計画策定に基づく架け替えへと円滑な転換を図るとともに橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕・架け替えに係る費用の縮減を図り、道路橋の安全性・信頼性を確保するための計画を策定するものである。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		進捗率	24,514千円	100%	実施事業費÷	平成23年度
		① 進捗率	21,780千円	100%	計画事業費	平成23年度
		② (達成率分析)	計画どおり実施した。			
		③ (達成率分析)				

実施（DO）

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 21 ~ H 23		22年度以前		23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績	
活動指標	① 橋	304	304	25	279	279	
	②						
成果指標	① %	100	100	11.1	88.9	88.9	
	②						
総事業費 C (A+B)	千円	25,913	25,913	3,433	22,480	22,480	
直接事業費 A	千円	24,513	24,513	2,733	21,780	21,780	
人件費 B	千円	1,400	1,400	700	700	700	
内訳	従事職員数	人	0.2	0.1	0.1	0.1	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	
財源内訳	国補助金	千円	15,507	1,350	14,157	14,157	
	県補助金	千円					
	起債	千円	8,900	1,300	7,600	7,600	
その他	千円						
一般財源	千円	1,506	1,506	783	723	723	

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	道路の安全性及び利便性については、普遍的なものであり事業を行う必要がある。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	計画どおり達成された。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	最小の経費で最大の効果を得る設計で実施した。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点 (事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点)	
	特になし。	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 (目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策)	
	目的は達成された。	
2 次 評 価	橋梁の長寿命化及び橋梁に係る費用の縮減を図り、道路橋の安全性・信頼性を確保するための計画策定である。今後は本計画に基づき維持管理を行うこと。	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。